

## 2017.08.21：都市整備建設委員会 本文

○菅原正和委員 1点だけちょっとお聞きしたいことがあるのですが、動物の購入が困難なり、動物の高齢化が懸念ということなのですから、これはどこの動物園でも今このような問題が起きているかと思えます。そして、各施設では動物の健康を保ちつつ、どう公開していくのがいいのかということで、動物の長寿社会に向けた工夫をしていかなければだめだと。そういうことが言われているという記事を見つけました。実際、多摩動物公園のチンパンジーは足を痛めまして、ちょうどコンドロイチンのサプリを与えたら歩けるようになったとか、あと井の頭自然文化園の看板であるゾウは、特製ドリンクの中に養命酒を混ぜたら食欲が湧いたということなのですから、動物も人間と同じように、これから健康管理をして、長寿で天寿をしていかなければだめかと思うのですけれども、その辺動物園ではどうやっているのでしょうか。

○飼育展示課長 他園の老齢動物に対する具体的な例示ありがとうございます。

八木山動物公園でも同様に老齢動物に対する対応をとっております。1例を申しますと、アフリカゾウのメアリーは今アフリカゾウの中でも国内で2番目に年を重ねておりますが、最近やはり関節が、体重も重いですので関節が痛んできております。大量のコンドロイチンを毎日バナナに混ぜてやっている状況で、そういったことで多少改善が見られます。餌やり体験とかでも非常に人気を博している動物ですので、今後もそういった年齢に合わせた中で、寒いときはより温かく、暑いときは少し涼しく、そしてサプリメント、ビタミンとかも加えまして、できるだけ長生きしていただくように取り組んでおります。

○菅原正和委員 ぜひとも、亡くなったらますます費用がかかるので、そういう面では工夫を凝らしていただいて、動物の長寿社会を乗り越えていただければと思います。

あともう一つなのですから、動物園の人気ランキングというのはやっているのでしょうか。

○八木山動物公園管理課長 動物園の人気動物ランキングということなのですから、正月開園だったかと思えますけれども、その際にアンケートをとりまして、お客様から上位から3点ほど選んでということで記入していただきまして、それをとりまして、園内にも掲示しておりますし、やっております。

○菅原正和委員 ちなみになのですけれども、1位、2位、3位というのはどういう動物なのでしょうか。

○八木山動物公園管理課長 ちょっと記憶が定かではないのですけれども、上位3位までというのは大体決まっている部分があるのですが、固まっている部分があるのですけれども、アフリカゾウ、ホッキョクグマ、レッサーパンダとか、そういったところが人気がございます。あと、八木山動物公園といえばスマトラトラですので、スマトラトラも上位に入っております。